

(活動報告書様式)

団体名	鮎貝地区児童神楽保存会		
事業名	鮎貝地区児童神楽舞		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：民俗芸能や文化財等を通じた地域の文化継承活動の促進】		
団体の 所在市町村	白鷹町	事業費	290,640 円
		うち助成金額	230,000 円



#### ■事業目的

少子高齢化に伴う人口減少の中で消えつつある伝統文化を継承していくことが課題である。そのため小学生を中心にこの事業に参加してもらい、日本の伝統文化となる神楽舞を習得し、発表会で演舞出来るように練習していく。参加者には、伝統文化の素晴らしさ、大切さを感じてもらうだけでなく、地域の住民にも同じように伝えていくことを目的として事業を行った。

#### ■実施内容

外部講師を招いて、小学生3年生から6年生の12人、に神楽舞の基礎から総合練習を行い、10月10日・10月13日・1月1日の年間3回の発表会を実施した。

装束合わせ・装束の着装時には、参加者の保護者にも参加頂いた。

発表会では、実際の装束（千早、袴）を身に着け神楽舞を披露した。

子供たちには、玩具ではない本物の檜扇や鈴に触れてもらい、実際にその取扱いも習得してもらった。

今後の事業継続を念頭に置き、過去の神楽舞経験者にも参加を促したが、該当者が仕事の都合で今年は都合がつかなかった。

沢山の方が、間近で神楽舞を見れる外での発表会を10月13日に実施。

例祭時のポスターに神楽舞の内容を記載してもらい、大勢の方に神楽を見て頂くため、このポスターを地域外にも掲示して頂いた。

#### ■事業の成果及び今後の展望

##### ①事業の成果

12人の子供たちに、練習を通しながら伝統文化の素晴らしさや大切さを実感し

てもらった。

また、礼儀作法なども身に着けることもできた。

発表会を通して地域の方々を含め100人を超える見学者に、伝統文化の素晴らしさについて直接肌で感じてもらうことができた。

##### ②今後の展望

今回、指導者は他の市町村からお願いしたが、この神楽舞の事業を経験した子供たちの中から、指導者として成長してくれることを望んでいる。

これにより、将来とも継続して神楽舞が引き継がれるように進めたい。

実際に6年生の児童から、中学生になってからもこの事業に参加したい旨の希望があったことは、将来の継続に対して希望の芽がでていいる事に期待できる。